

## 環境関連活動調査表

サプライヤさま 各位

株式会社NTTドコモ

貴社の取り組み状況について、下記の質問事項にご回答頂きますようお願い致します。

質問の回答選択肢の数字を「回答」欄内に、補足等ありましたら「備考」欄内にご記入願います。

2021年11月より調査表が新しくなりました。シート「温室効果ガス削減の取り組み状況」、「環境への取り組み状況」、「提案製品について」の記入も併せてお願い致します。

## サプライヤさま情報

作成日		連絡先 電話番号	
貴社名		連絡先 FAX番号	
所属部門名		連絡先 E-Mailアドレス	
記入者名			

Nc	項目	質問事項	回答選択肢	回答	備考
<b>必須事項</b>					
<b>※ソフトウェアの調達については記入不要です。</b>					
1	製品含有化学物質調査	1 『製品含有化学物質調査回答書』又は『chemSHARPA-AIデータ』を必ず提出できますか	1.提出できる 2.提出できない		
		2 国際規格IEC62474 の基準に準じ、国内外の条約・法令・条例・規制等に従って、含有化学物質毎に定められた閾値レベルを遵守した提案が可能ですか？	1.はい 2.いいえ		
		3 弊社顧客の依頼に基づき、各種法規制(RoHS指令等)に関する「不使用証明書」「自己適合宣言書」等の保証書を必ず提出できますか？	1.提出できる 2.提出できない		
<b>要望事項</b>					
1	グリーン調達・購買システム	1 グリーン調達・購買システムを構築、運用していますか	1.実施している 2.実施していない		
		2 グリーン調達・購買の範囲はどこまでですか	1.事務用品 2.事務用品、生産部材(製品・部品・材料・資材等)		
2	事業所の環境負荷低減	次の項目に取組んでいますか			※活動内容・補足は以下に記載願います
		1 廃棄物削減・リサイクル	1.取組んでいる 2.取組んでいない		
		2 省エネルギー・省資源	1.取組んでいる 2.取組んでいない		
		3 水資源の保全 ※例) 排水の再利用等、取水量の削減、モニタリング等	1.取組んでいる 2.取組んでいない 3.該当なし		
3	製品の環境負荷低減	次の製品のライフサイクルでの環境負荷を低減する活動を実施していますか			※活動内容・補足は以下に記載願います
		1 材料の統一、選定、有害物質抑制	1.取組んでいる 2.取組んでいない		
		2 回避すべき加工法	1.取組んでいる 2.取組んでいない		
		3 省資源性の向上	1.取組んでいる 2.取組んでいない		
		4 分解の容易性	1.取組んでいる 2.取組んでいない		
		5 材料名の表示	1.取組んでいる 2.取組んでいない		
		6 省エネルギー性の向上	1.取組んでいる 2.取組んでいない		
		7 梱包材(繰返し可能な構造、再生材、表示方法)	1.取組んでいる 2.取組んでいない		
		8 廃棄処理の容易性	1.取組んでいる 2.取組んでいない		

ご協力ありがとうございました

記載内容に変更が生じましたらその都度提出をお願い致します。

様式\_温室効果ガス削減の取り組み状況

様式4\_1

ver.20220318

項目	ご回答	備考欄	当社からの要求事項等
① 企業等名を記載			提案製品が提案者と異なる場合には、提案製品のメーカーについても本様式を提出お願いします。
② 提案者および提案内容について右記から選択	A.提案者は従業員500人未満 B.上記以外		回答がAの場合は、中小企業の要件を適用します。
③ SBTへの参加状況について ※親会社が発行取得 or コミット済みの場合は、親会社の状況を回答し、備考欄に親会社名を記載するようお願いいたします。	A. SBTの認定を取得済み B. SBTへの参加をコミット済み C. SBTへ参加していない	親会社名(親会社の取り組みを記載する場合)：	■提案者も含めて親会社が取り組みをしている場合は、親会社の取り組み内容を記載することも可です。
④ 温室効果ガス実績の算定状況について ※親会社が自社も含めて算定している場合は、親会社の状況でも可です。なお、備考欄に親会社名を記載するようお願いいたします。	A. 算定している(備考欄に数値を記載) B. 一部算定(本社のみ、scope1のみ等)(備考欄に数値を記載) C. 算定していない	x x x x x年(or 年度) Scope1： Scope2： Scope3： 合計：  算定範囲： 親会社名(親会社の取り組みを記載する場合)： Scope3の割合がScope1～3の合計の40%を超えるか？：超える or 超えない or 不明	■提案者も含めて親会社が取り組みをしている場合は、親会社の取り組み内容を記載することも可です。 ■②の回答がA scope1, 2排出量の算定をお願いします ■②の回答がB ・Scope1,2,3排出量の算定をお願いします。 ・Scope3の割合について、備考欄に超える or 超えない or 不明のいずれかを記載※ ※不明の場合は、「B.一部算定(本社のみ等)(備考欄に数値を記載)」に該当しますので、scope3の算定をお願いいたします。
⑤ 温室効果ガスの削減目標の設定状況について ※親会社が自社も含めて設定している場合は、親会社の状況でも可です。なお、備考欄に親会社名を記載するようお願いいたします。	A. 設定している(備考欄に数値を記載) B. 一部設定(本社のみ、scope1のみ等)(備考欄に数値および目標設定範囲を記載) C. 設定していない	目標年：x x x x x年(or 年度) 基準年：x x x x x年(or 年度) Scope1目標：xx%削減(年x.xx%削減) Scope2目標：xx%削減(年x.xx%削減) Scope3目標：xx%削減(年x.xx%削減) 合計目標(設定している場合)：xx%削減(年x.xx%削減)  目標設定範囲： 親会社名(親会社の取り組みを記載する場合)：	■提案者も含めて親会社が取り組みをしている場合は、親会社の取り組み内容を記載することも可です。 ■NTTドコモと同等以上の目標設定のご協力をお願いします。 NTTドコモ目標：「毎年1.23%の温室効果ガスを削減し、2030年度は2019年度比14%の温室効果ガスを削減」 なお、以下の場合についてはSBTに基づき、scope3の目標設定が必須ではありません。 ①提案者が従業員500人未満の場合 ②Scope3の割合がScope1～3の合計の40%を超えない場合※ ※不明の場合は、「B.一部設定(本社のみ等)(備考欄に数値および目標設定範囲を記載)」に該当しますので、scope3の算定をお願いいたします。 ■Scope3の目標範囲はScope3全体の2/3を網羅するカテゴリでお願いいたします。  ■合計した目標で記載しても可です。 ※設定範囲が会社全体やscopeを網羅していない場合は取り組みの検討をお願いいたします。
⑥ ④～⑤を社外へHP等で公表している場合はURL等を記載 ※実績や目標が公表されている箇所がわかるように記載をお願いいたします。			■提案者も含めて親会社が取り組みをしている場合は、親会社の取り組み内容を記載することも可です。
⑦ <u>【④の回答がB・C or ⑤の回答がB・C or ⑥が公表していない場合に回答】</u> ④～⑤の取組みが不十分の場合や公表していない場合は、取組みおよびHP等での社外への公表の予定について記載 <u>【1年後を目標に公表が難しい理由や具体的なスケジュール(2年後を目標に実施等)があれば、備考欄に記載をお願いします。】</u>	A. 取組みおよび公表する予定がある( 年 月予定) B. 取組みおよび公表する(1年後を目標に実施) C. 取組みおよび公表する予定は無い		■提案者も含めて親会社が取り組みをしている場合は、親会社の取り組み内容を記載することも可です。 ■原則、「別冊-4 環境への取り組み条件」に記載の要件①・②をRFP応札時から1年を目標に満たすようにお願いします。 ■1年後を目標に公表が難しい理由や具体的なスケジュールがあれば、備考欄に記載をお願いします。 理由と実施予定時期を確認のうえ、個別の期間を延長する場合があります。 ■取り組み状況について確認させていただくことがありますので、ご協力をお願いします。
⑧ 上記以外で温室効果ガス削減の取り組みを計画・実行している場合は記載するようお願いいたします。			・中小企業(②のA)に該当し、要件達成が困難な場合は、何等かの温室効果ガス削減施策を策定・計画していることで要件を満たしているときも場合があります。 ※個別に確認のうえ判断いたしますので、内容をご回答へ記載をお願いします。 ・取り組み状況について確認させていただくことがありますので、ご協力をお願いします。

- 温室効果ガス削減の取り組み状況を評価し、要求条件を満たす提案者から優先的に調達いたします。
- 温室効果ガス削減の取り組みは以下についてご協力をお願いいたします。  
【要求条件】  
要件① SBTの認定を取得している。(コミット中も含む)  
要件② SBTの認定は取得していないものの、温室効果ガス排出目標・実績が公表されており、NTTの目標と同等以上である  
要件③ 調達時点(現時点)では満たさないが、時期(向こう1年を目標)を明確に要件①②のいずれかを実施することとする。  
※詳細は「別冊 環境への取り組み条件」を参照願います  
■必要に応じて参考資料を別添で提出をお願いします。  
【参考URL】 NTTの目標：https://group.ntt.jp/environment/management/statement/

様式\_環境への取り組み状況

	項目	ご回答	根拠	備考欄	当社からの要求事項等
提案者 について	1 企業名※提案者の企業名			親会社名※： ※3～7について親会社の取り組みを記載する場合	■3～7の取り組みについて、提案者も含めて親会社が行っている場合は、親会社の取り組み内容を記載することも可です。
	2 環境マネジメントシステム	A. 第三者認証を得ている(備考欄へ認証名を記載) B. 第三者認証を得ていないが、環境マネジメントシステムを構築している C. 環境マネジメントシステムを構築していない  回答がBの場合は以下もご回答願います。 B-1.環境マネジメントシステムには以下の5項目が含まれている。 B-2.環境マネジメントシステムには以下の5項目が含まれていない。 ①環境方針 ②環境目的及び目標 ③環境管理体制及び環境管理責任者 ④従業員に対する環境教育 ⑤環境関連法規の遵守			■環境マネジメントシステムの構築をお願いします。 ■環境方針や、環境目標の策定と実施状況等が簡潔にわかる資料を提出してください。(フォーマットはフリー) ■第三者認証を得ている場合は、認証名を備考欄へ記載をお願いします。 ■現時点では環境マネジメントシステムを構築していないが、今後構築する計画がある場合は検討状況及び実施予定時期について備考欄へ記載をお願いします。
	3 温室効果ガス削減				■「温室効果ガス削減の取り組み状況」シートのご記入をお願いします。 ■既に公表している目標値がNTTより高い場合にはプラスの評価をします。
	4 資源循環の取り組み	A. 取り組みを実施しており、HP等で公表している(URLを根拠へ記載) B. 取り組みを実施しているが、HP等で公表していない C. 取り組みを実施していない			■取り組みを公表している場合は、URLと該当箇所がわかるように根拠へ記載し、備考欄へ取り組み内容を簡潔に記載をお願いします。 ■取り組みを公表していない場合は、備考欄へ取り組み内容を簡潔に記載をお願いします。 ■必要に応じて取り組み内容がわかる資料を提出してください。(フォーマットはフリー) ■A⇒Bの順でプラスの評価をします。
	5 生物多様性の取り組み	A. 取り組みを実施しており、HP等で公表している(URLを根拠へ記載) B. 取り組みを実施しているが、HP等で公表していない C. 取り組みを実施していない			■取り組みを公表している場合は、URLと該当箇所がわかるように根拠へ記載し、備考欄へ取り組み内容を簡潔に記載をお願いします。 ■取り組みを公表していない場合は、備考欄へ取り組み内容を簡潔に記載をお願いします。 ■必要に応じて取り組み内容がわかる資料を提出してください。(フォーマットはフリー) ■A⇒Bの順でプラスの評価をします。
	6 環境保全に関する取り組み	A. 取り組みを実施しており、HP等で公表している(URLを根拠へ記載) B. 取り組みを実施しているが、HP等で公表していない C. 取り組みを実施していない			■取り組みを公表している場合は、URLと該当箇所がわかるように根拠へ記載し、備考欄へ取り組み内容を簡潔に記載をお願いします。 ■取り組みを公表していない場合は、備考欄へ取り組み内容を簡潔に記載をお願いします。 ■必要に応じて取り組み内容がわかる資料を提出してください。(フォーマットはフリー) ■A⇒Bの順でプラスの評価をします。
	7 サプライチェーン上流への取り組み	A. 取り組みを実施しており、HP等で公表している(URLを根拠へ記載) B. 取り組みを実施しているが、HP等で公表していない C. 取り組みを実施していない			■取り組みを公表している場合は、URLと該当箇所がわかるように根拠へ記載し、備考欄へ取り組み内容を簡潔に記載をお願いします。 ■取り組みを公表していない場合は、備考欄へ取り組み内容を簡潔に記載をお願いします。 ■必要に応じて取り組み内容がわかる資料を提出してください。(フォーマットはフリー) ■A⇒Bの順でプラスの評価をします。
製品 について	8 提案製品に関する取り組み状況				■「提案製品について」のシートへの記載をお願いします。

■環境への取り組み状況を確認し、プラスの評価を実施します。※参考：「別冊 環境への取り組み条件」  
 ■NTTグループの環境活動方針とサプライヤの皆様への要請については、NTTグループ サプライチェーンサステナビリティ推進ガイドラインとNTTグループ グリーン調達基準を参照願います。  
 【参考URL】 NTTグループ サプライチェーンサステナビリティ推進ガイドライン： <https://group.ntt.jp/newsrelease/2022/02/16/pdf/220216ab.pdf>  
 NTTグループ グリーン調達基準： <https://group.ntt.jp/newsrelease/2022/02/16/pdf/220216ac.pdf>

様式\_提案製品について(雛形)

1. 省エネ性能について

ver.20220318

製品名	メーカー名	省エネ性能(星の数を記載)	計算式(根拠)	備考
①				■必要に応じて、補足資料を提出してください。
②				
③				

■省エネ性能を確認し、プラスの評価を実施します。※参考：「別冊 環境への取り組み条件」  
 ■計算方法は、ICT分野におけるエコロジーガイドラインに記載の計算方法で算出をお願いします。  
 【参考URL】 ICT分野におけるエコロジーガイドライン協議会：<https://www.tca.or.jp/information/ecoict/index.html>

2. ICPを適用するための製品の定格電力値 ※電気を使用する機器の場合は記載

ver.20220901

製品名	メーカー名	定格電力値(Kwh)	備考
			■必要に応じて、補足資料を提出してください。

3. 製品に関するプラスチック材料削減に関する取り組み

ver.20210916

項目	ご回答	備考欄
提案製品に関する取り組み状況	A. 製品にリサイクル材料およびバイオマスプラスチックを使用している B. 製品にリサイクル材料およびバイオマスプラスチックを使用していない	一部でも使用していれば「使用している」として回答可能。
	A. 梱包資材（個装箱等を含む）にプラスチック素材を使用していない B. 梱包資材（個装箱等を含む）にプラスチック素材を使用している	左記のプラスチック素材にリサイクル材料およびバイオマスプラスチックは含まないものとする。 梱包資材について、ドコモ向けだけでなくお客様向けも含む。